

平成27年度 国立吉備青少年自然の家教育事業

「教員のための効果的な体験活動のすすめ方」学級経営に生かす体験活動研修会

1. 事業の目的(趣旨・ねらい)

教員が体験活動の意義について理解するとともに、学級での仲間づくりに体験活動を取り入れる方法を講義や実習を通して習得する。

2. 事業の概要

(1) 期 日

平成27年8月3日(月)日帰り

(2) 参加者

① 募集対象

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教諭 40人
教員10年経験者研修の「発展研修」の該当者を優先する。

(ただし、岡山市、倉敷市の小学校、中学校、中央教育学校を除く)

② 参加人数

8名

(3) 企画・運営のポイント

- ① 10年経験者研修の「発展研修」に対応することで、教員へ向けての体験活動の普及にもなるようにプログラム内容を設定した。
- ② 体験に基づいたコミュニケーション能力の向上を視野に入れた内容にすることで、学級経営にも活用できるよう工夫した。

3. 活動の内容等

(1) 予定・内容

時間	内容
9:00	受付
9:15	開講式 学級活動に生かす体験活動① 【内容】体験活動プログラムの導入を習得するための実習。アイスブレイクを中心とした実習。
10:30	体験活動の意義について 【内容】子どもの状況を踏まえ、体験活動の必要性和教育効果に関する講義。
11:30	昼食
12:30	学級活動に生かす体験活動② 【内容】子ども同士、教師・子どもの関係を円滑にするための学校でも可能な課題解決ゲームを中心とした実習。
14:20	休憩
14:30	学級活動に生かす体験活動③ 【内容】国立吉備青少年自然の家の施設を利用した課題解決学習ゲームの実習。これまでの教育実践と研修での学びをふりかえりながらのまとめ。
16:15	閉講式

(2) 活動の状況



【講義】



【アイスブレイク】



【課題解決ゲーム】



【ふりかえり】

4. 成果・課題

(1) 満足度

満足：100%

(2) 参加者の声

- ① 丁寧に楽しくご指導いただき、ありがとうございました。たくさんのヒントをいただいたので、ぜひ明日からの活動に生かしていきたいと思います。キャンプにも来たいです。
- ② いろいろな体験を通して、子ども達が日頃どのような気持ちでいるのかを感じることができました。また、体験をして終わりではなく、ふり返りの大切さ、また目的を達成するための手段であることを学びました。2学期からこの経験を生かしていきたいと思います。ありがとうございました。

(3) 成果

- ① 学校教育で即実践できるよう、講義や演習を提供することができた。
- ② 参加者それぞれのもつフィールドにある課題を聞き取りながら、それにあった形で理論やスキルを提供することができた。

(4) 課題

定員を満たすことができなかつたため、来年度は定員を超えるよう広報をしていきたい。

担当：企画指導専門職付 黒田 雅秀